

教職員を対象とした地震防災研修プログラムの作成と実施

木更津高専 学生会員 ○田中羽純

木更津高専 正 会 員 鬼塚信弘

1. はじめに

2011年3月11日午後2時46分に発生した、東北地方太平洋沖地震に伴い、大規模な停電や交通機関の機能停止、電話の不通が生じた。東北や関東をはじめとする、各地の学校機関において、地震発生時の保護者への連絡や児童・生徒に対する指示に混乱が生じた¹⁾。このような状況を受け、東京都や埼玉県の公立小学校では保護者の帰宅難民を想定し、防災マニュアルの見直しを行っている。学校は、震度5弱以上の大きな地震が発生した際の対応として、児童を下校させず学校に留め置き、保護者に直接引き渡しをすることに統一したため²⁾、児童を保護者に引き渡すまでの、学校管理下における安全確保の必要性が高まっている(図-1)。そこで、筆者らは、地震発生時に児童・生徒を預かる立場となる教職員を対象とした防災研修会が必要になるのではと考えた。しかし、現在までに行われてきた教職員を対象とした防災研修会は、学校安全を担当している教員を対象としたものが多かった。

本研究では、教職員の地震に対する知識を身に付け、適切な判断ができる研修プログラムを作成すると共に、多くの教職員が参加できる研修会となるよう、開催時期や案内方法についても検討した。本防災研修会の内容策定のため、事前に千葉県木更津市内の全小中高校を対象として、地震発生時の学校の対応状況と、各教職員の対応状況についてアンケートを実施した。そのアンケート結果に基づき作成した研修プログラムを実施し、参加者の反響をアンケートにより分析したので報告する。

2. 地震発生時の対応状況についてのアンケート

2.1 概要

事前に行った地震発生時の対応状況に関するアンケートは、千葉県木更津市内全小中高校の40校を対象とし、学校長と教職員に分けて行った。学校や教職員が求めている研修会にするため、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震発生時の学校と教職員の対応状況や、教職員が感じたことを把握する内容とした(表-1)。

表-1 事前アンケートの概要

調査日	配布:2011年9月2日
	回収:2011年9月28日
対象学校	千葉県木更津市内全小中高校 40校
対象者	学校長, 教職員
調査方法	教育委員会の投函箱にて配布・回収
調査内容	・学校における地震発生時の時間帯
	・地震発生時の児童・生徒と教職員の様子
	・教職員の児童・生徒への指示
	・指示に対する自己評価
	・学校の各教職員や児童・生徒への指示
	・避難訓練の回数と想定内容
	・防災教育実施の有無
	・地震発生に対応するため、学校として今後行うべきこと
配布・回収枚数	学校用:配布枚数40枚, 回収枚数39枚, 回収率98%
	教職員用:配布枚数1152枚, 回収枚数862枚, 回収率75%
調査主体	木更津工業高等専門学校 環境都市工学科
	木更津市教育委員会 木更津市役所総務行革課

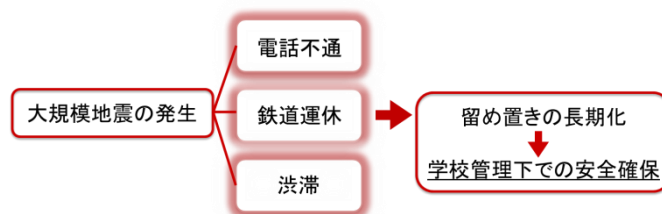


図-1 地震による影響

地震発生時は何をしている時間帯でしたか

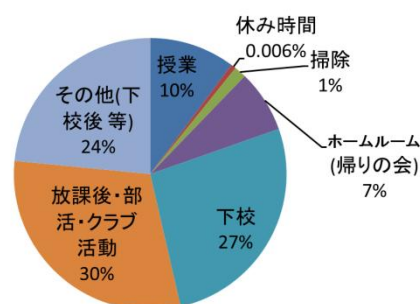


図-2 地震発生時の時間帯

児童・生徒に対する指示を自己評価してください

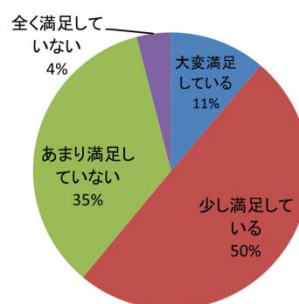


図-3 児童・生徒に対する指示の自己評価

2.2 結果と分析

アンケートに回答した教職員の内 80%は、地震発生時、児童・生徒は不在、または少人数であったと回答した。木更津市内の中学校の多くは、この日の午前中に卒業式を行っており、午後の地震発生時には生徒がほとんどいない状態であった。小学校でも低学年はすでに下校しており、高学年は帰りの会、または下校中の時間帯であった（図-2）。児童・生徒に対する指示の自己評価では、今回は児童・生徒の数が少なかったため対応できたが、全校児童・生徒がいた場合にはどのようなことになるか不安である、という意見が多数であった（図-3）。研修会に対する要望として、地域の特性、地震に伴って発生する災害、校内や通学路の危険な場所、といった知識が不足しているため知りたいという意見が多くあった。

3. 地震を想定した防災研修会

3.1 開催日時

教職員が参加しやすいように、児童・生徒が休みとなる冬休み中の開催とした。会場を木更津高専とし、平成 23 年 12 月 25 日と 26 日に、両日とも 13 時から 16 時の間で 3 時間の研修会を行った。

3.2 防災研修プログラムの流れと内容

地震を想定した防災研修プログラムの流れと内容を図-4 に示し、工夫を凝らした災害図上訓練を以下に詳述する。

・災害図上訓練(グループ内ディスカッション)

千葉県木更津市と富津市からの参加者だったため、木更津市と富津市に加えて、間に位置する君津市の地図を用意した。土地条件図を用いて地形分類を確認し、最新の地形図と照らし合わせることで、どの地域でどのような災害が発生する可能性があるのかをディスカッションによって把握した³⁾ (写真-1)。

13:00～13:15 (15分)	「地震発生時の対応状況についてのアンケート」結果報告
13:15～13:40 (25分)	地震と地震に伴って発生する災害の基礎知識
13:40～14:00 (20分)	過去の地震被害や対応の事例
14:00～14:10 (10分)	休憩
14:10～15:00 (50分)	災害図上訓練(グループ内ディスカッション)
15:00～15:10 (10分)	休憩
15:10～15:50 (40分)	災害図上訓練(グループごとに発表)
15:50～16:00 (10分)	アンケート
※研修会時間内で緊急地震速報を用いた緊急避難訓練を実施	



写真-1 災害図上訓練

3.3 アンケート結果と分析

教職員を対象とした研修会は必要であるか、という質問に、参加者全員がそう思うと回答している。災害図上訓練は、現在の地形と過去の地形を見比べながら意見を交換できる場となり、非常に興味関心が持てたという意見が多かった。しかし、地図の見方が難しいのでアドバイスが欲しいという回答も寄せられた。事前に知らせずに行った、災害図上訓練中の緊急避難訓練(写真-2)も、とっさに行動ができるかどうか試せた点で良かったという意見が多かった。より多くの教職員が参加できるよう、開催時期は夏休み中が良いのではという意見が多く見られた。

4. まとめ

本研究では、アンケートにより得た教職員の要望を基に研修プログラムの作成を行ったのだが、3 時間という短い時間だったことと、本研修会では実施が難しい要望も多く、全ての要望には応えられなかった。また、年末に開催したため、参加希望者も少なかった。本研修会に対する参加者の反響は良く、今後もこのような取り組みが行われ、多くの教職員が参加すべきという意見があった。学校安全を担当している教員だけではなく、地震発生時に指示を出すこととなる全教職員向けの研修会は重要であると考え、今後は、開催時期や案内の方法を再考すると共に、災害図上訓練でサポートをする側の知識を更に深めていくことが必要である。

【謝辞】本研究の実施にあたり、木更津市教育委員会、木更津市総務行革課の支援を頂きました。ここに感謝の意を表します。

【参考文献】

1) 教育新聞:防災教育のあり方

http://www.kyobun.co.jp/feature/special_04.html

2) 朝日新聞:大地震 児童は学校待機 (2011 年 8 月 3 日)

3) 図上演習研究会:図上演習入門, p112-p114,2011



写真-2 緊急避難訓練

図-4 地震を想定した防災研修プログラム